

防火対象物使用開始届出書

表

(1) 年 月 日					
(2) 消防署長 様					
届出者 (3)					
住所 _____					
氏名 _____					
電話番号 _____					
<p>気仙沼・本吉地域広域行政事務組合火災予防条例第43条の規定により、防火対象物の使用開始について届け出ます。</p>					
所在地	(4) 電話番号				
名称	(5)		主要用途	(6)	
建築確認年月日	(7)		建築確認番号	(8) 第 号	
※ 消防同意年月日			※ 消防同意番号	第 号	
工事着手 年月日	(9)	工事完了(予定) 年 月 日	(10)	使用開始(予定) 年 月 日	(11)
他の法令による 許 認 可	(12)				
敷地面積	(13) m ²	建築面積	(14) m ²	延面積	(15) m ²
従業員数	(16)		公開時間又は 従業員時間	(17)	
屋外消火栓，動力 消防ポンプ，消防 用水の概要	(18)				
その他の 必要な事項	(19)				
※ 受 付 欄			※ 経 過 欄		

防火対象物棟別概要 (第 号)	用途	(20)		構造	(21)			
	種別 階別	床面積 m ²	用途	消防用設備等の概要				特殊消防 用設備等 の概要
				消 火 設 備	警 報 設 備	避 難 設 備	消火活動 上必要な 施 設	
	(22)階	(23)	(24)	(25)	(26)	(27)	(28)	(29)
	階							
	階							
	階							
	階							
	階							
	計	(30)						

- 備考
- この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
 - 法人にあっては、その名称、代表者氏名及び主たる事務所の所在地を記入すること。
 - 同一敷地内に2以上の棟がある場合には、棟ごとに「様式第7号防火対象物別概要追加書類」に必要な事項を記入して添付すること。
 - 建築面積及び延面積の欄は、同一敷地内に2以上の棟がある場合には、それぞれの合計を記入すること。
 - 消防用設備等の概要欄には、屋外消火栓、動力消防ポンプ及び消防用水以外の消防用設備等の概要を記入すること。
 - 防火対象物の位置図、各階平面図及び消防用設備等の設計図書（消火器具、避難器具等の配置図を含む。）を添付すること。
 - ※印の欄は、記入しないこと。

防火対象物使用開始届出書記入要領

項 目	記 入 内 容
(1) 年月日	防火対象物使用開始届出書を提出する年月日を記入します。
(2) 宛先	防火対象物使用開始届出書を提出する消防署長を記入します。(気仙沼又は南三陸)
(3) 届出者	防火対象物を使用(事業所の入れ替え, 用途変更)しようとする者(テナントの入れ替え等については, テナントを使用しようとする者)の住所, 電話番号及び氏名を記入します。 (法人の場合は, 法人の住所, 名称, 電話番号及び代表者の職, 氏名を記入します。)
(4) 所在地	使用しようとする防火対象物の所在地, 電話番号を記入します。
(5) 名称	防火対象物の名称を記入します。また, テナント等一部についての届出の場合は, カッコ書き等で該当名称を記入します。
(6) 主要用途	消防法施行令別表第1に掲げる防火対象物の用途のうち, 該当するものを記入します。(例 飲食店, 物品販売店舗, ホテル)
(7) 建築確認年月日	建築確認年月日を記入します。計画変更がある場合は, 最終の計画変更の確認年月日を記入します。
(8) 建築確認番号	建築確認番号を記入します。
(9) 工事着手年月日	防火対象物の工事に着手した年月日を記入します。
(10) 工事完年月日	防火対象物の工事が完了(予定)した年月日を記入します。
(11) 使用開始年月日	防火対象物の使用を開始(予定)する年月日を記入します。
(12) 他の法令による許認可	消防法以外の他の法令による許認可を受けている場合は記入します。 ※該当しない場合は, 記入不要です。
(13) 敷地面積	敷地の面積を記入します。
(14) 建築面積	敷地内に存する建築物を合計した建築面積を記入します。
(15) 延面積	敷地内に存する建築物を合計した延面積を記入します。
(16) 従業員数	平常時における勤務体制時の最大従業員数(予定)を記入します。
(17) 公開時間又は従業員時間	公開時間又は従業員時間を記入します。
(18) 屋外消火栓, 動力消防ポンプ, 消防用水の概要	屋外消火栓, 動力消防ポンプ, 消防用水が設置されている場合, その概要を簡潔に記入します。 ※該当しない場合は, 記入不要です。
(19) その他必要な事項	その他, 必要な事項がある場合は記入します。 ※該当しない場合は, 記入不要です。
(20) 用途	消防法施行令別表第1に掲げる防火対象物棟別の用途のうち, 該当するものを記入します。(例 飲食店, 物品販売店舗, ホテル)
(21) 構造	防火対象物棟別の構造を記入します。(例 木造, 鉄骨造, 鉄筋コンクリート造, 鉄骨鉄筋コンクリート造)
(22) 階別	防火対象物に存する各階を記入します。
(23) 床面積	防火対象物棟別の各階(テナントの場合は該当部分)の床面積を記入します。
(24) 用途	防火対象物棟別の各階(テナントの場合は該当部分)の用途を記入します。
(25) 消火設備	防火対象物棟別の各階(テナントの場合は該当部分)に設置する消火設備を記入します。 ※該当しない場合は, 記入不要です。
(26) 警報設備	防火対象物棟別の各階(テナントの場合は該当部分)に設置する警報設備を記入します。 ※該当しない場合は, 記入不要です。

(27) 避難設備	防火対象物棟別の各階(テナントの場合は該当部分)に設置する避難設備を記入します。 ※該当しない場合は、記入不要です。
(28) 消火活動上必要な施設	防火対象物棟別の各階(テナントの場合は該当部分)に設置する消火活動上必要な施設を記入します。 ※該当しない場合は、記入不要です。
(29) 特殊消防用設備等の概要	防火対象物棟別の各階(テナントの場合は該当部分)に設置する特殊消防用設備等の概要を記入します。 ※該当しない場合は、記入不要です。
(30) 床面積(計)	防火対象物棟別の各階(テナントの場合は該当部分)の延床面積を記入します。

消防用設備等の種別ごとの設備名(例)

消防用設備等の種類	設 備 名
消火設備	消火器, 大型消火器, 簡易消火用具(水バケツ, 乾燥砂他), 屋内消火栓設備, スプリンクラー設備, 水噴霧消火設備, 泡消火設備, 不活性ガス消火設備, ハロゲン化物消火設備, 粉末消火設備, パッケージ型消火設備, パッケージ型自動消火設備, 住宅用消火器, 共同住宅用スプリンクラー設備等
警報設備	自動火災警報設備, ガス漏れ火災警報設備, 漏電火災警報器, 消防機関へ通報する火災報知設備, 非常警報器具(警鐘・携帯用拡声器・手動式サイレン等), 非常警報設備(非常ベル・自動サイレン・放送設備), 共同住宅用自動火災報知設備, 住戸用自動火災報知設備, 共同住宅用非常警報設備, 特定小規模施設用自動火災報知設備等
避難設備	避難器具(緩降機, 救助袋他), 誘導灯, 誘導標識
消火活動上必要な施設	排煙設備, 連結散水設備, 連結送水管, 非常コンセント設備, 無線通信補助設備, 共同住宅用連結送水管, 共同住宅用非常コンセント設備等